

SEAJ

度数率・強度率集計報告

(2017年1月～12月まとめ)

安全専門委員会

2019.4.16

SEAJ度数率、強度率調査統計

定義：厚生労働省労働災害動向調査に準ずる

- 度数率：労働災害の頻度を表す
 - 100万延べ実労働時間当たりの労働災害による死傷者数
- 強度率：災害の重さを表す
 - 1,000延べ実労働時間当たりの延べ労働損失日数

対象

- SEAJ会員企業日本国内事業所勤務社員
 - 海外現地法人社員は含まず

目的

- SEAJ安全活動の指標を作る

メリット

- 半導体装置業界の安全のレベルがわかる
- 業界平均と比較して会員各社の安全レベルがわかる
- データ分析し事故低減に役立てることができる

安全専門委員会コメント

1. 度数率

集計を開始した2012年度以降、0.33~0.65の間で推移しており、製造業、生産用機械と比較して低い水準となっている。

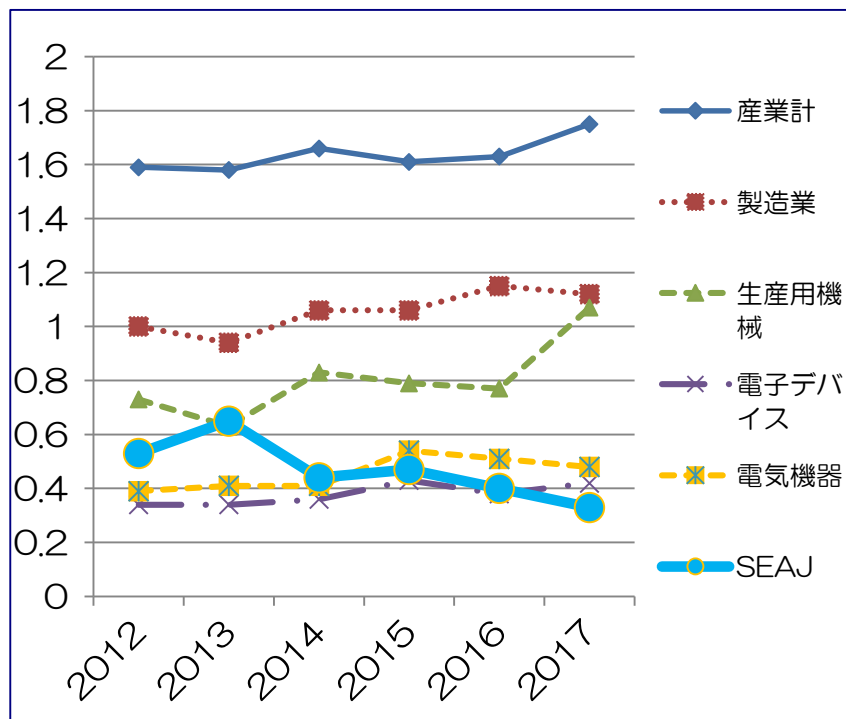
2. 強度率

集計を開始した2012年度以降、0.00~0.09の間で数値が大きく振れている。事故の重篤性について傾向を見いだすのは困難である。但し、フィールドにおいては0.00~0.01となっており、軽微な事故のみとなっている。

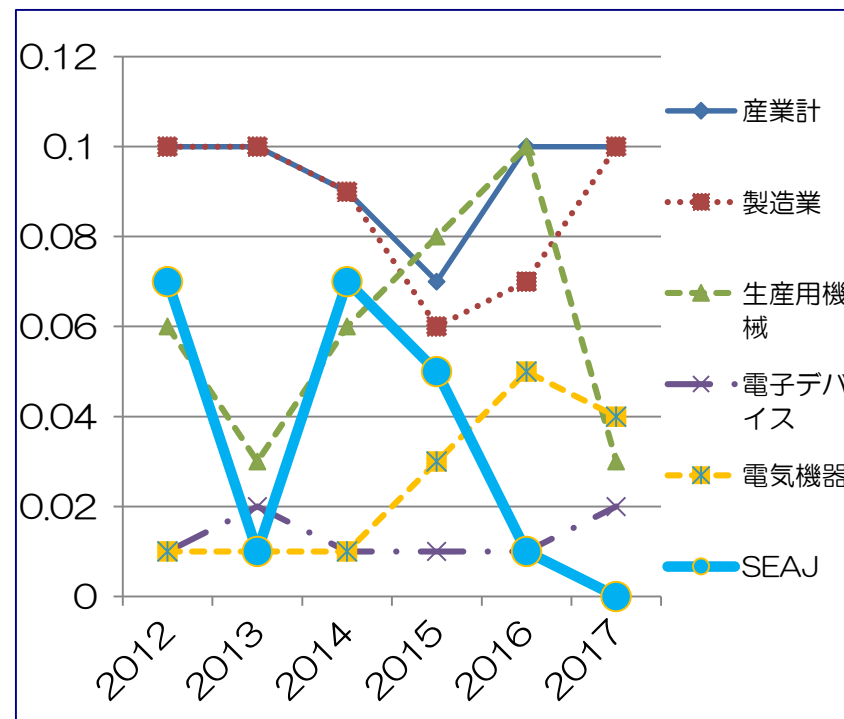
SEAJ調査協力企業度数率・強度率集計結果

抽出条件：自社事務所、工場、営業、顧客先作業における
事故発生率
調査協力企業27社

度数率



強度率

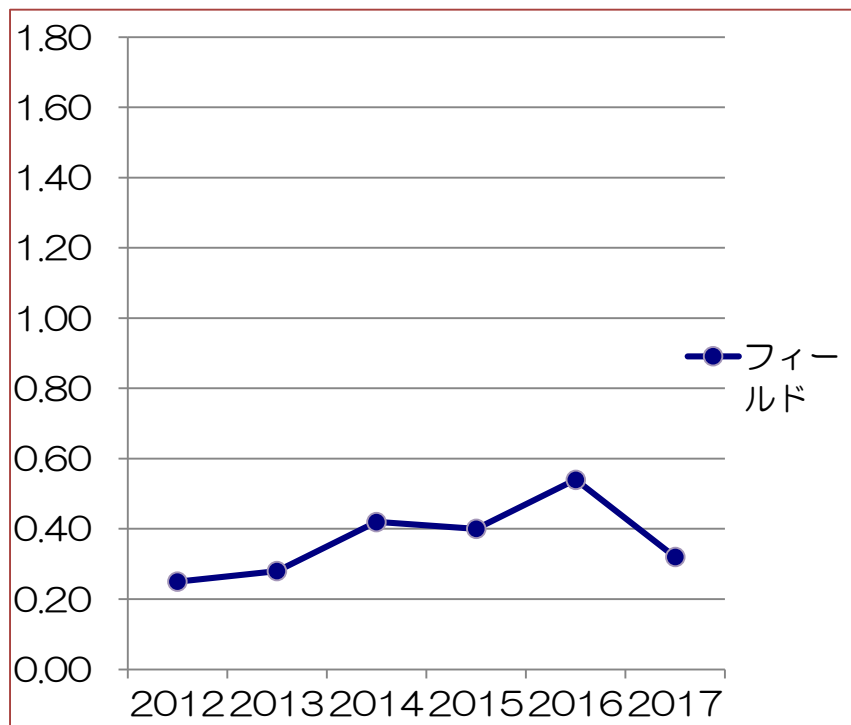


SEAJ調査協力企業度数率・強度率集計結果

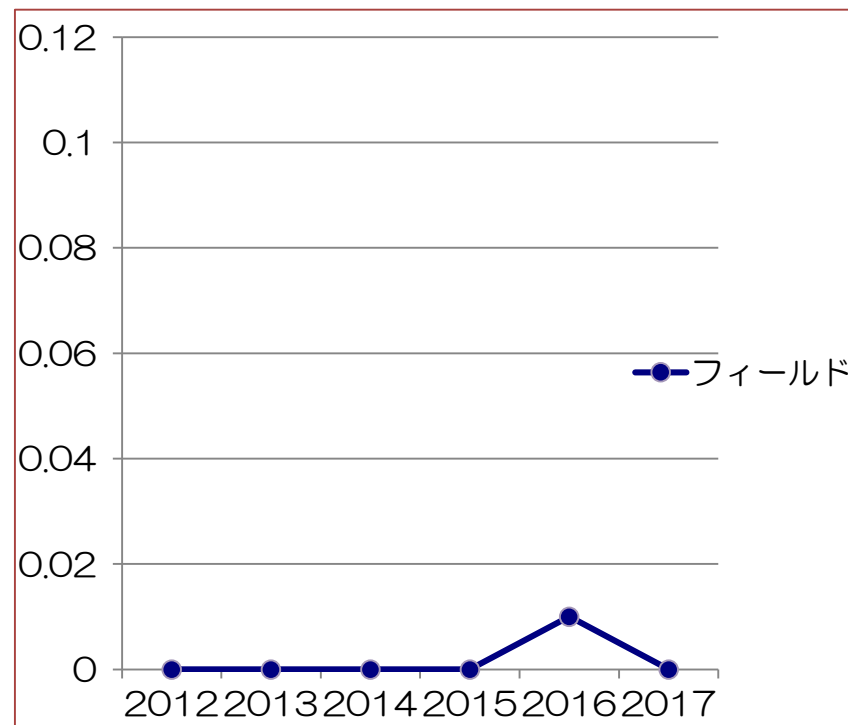
抽出条件：顧客先作業（フィールド）における事故発生率
（自社工場における事故発生は含まず）

調査協力企業 16社(2015) 16社(2016) 16社(2016) 11社(2017)

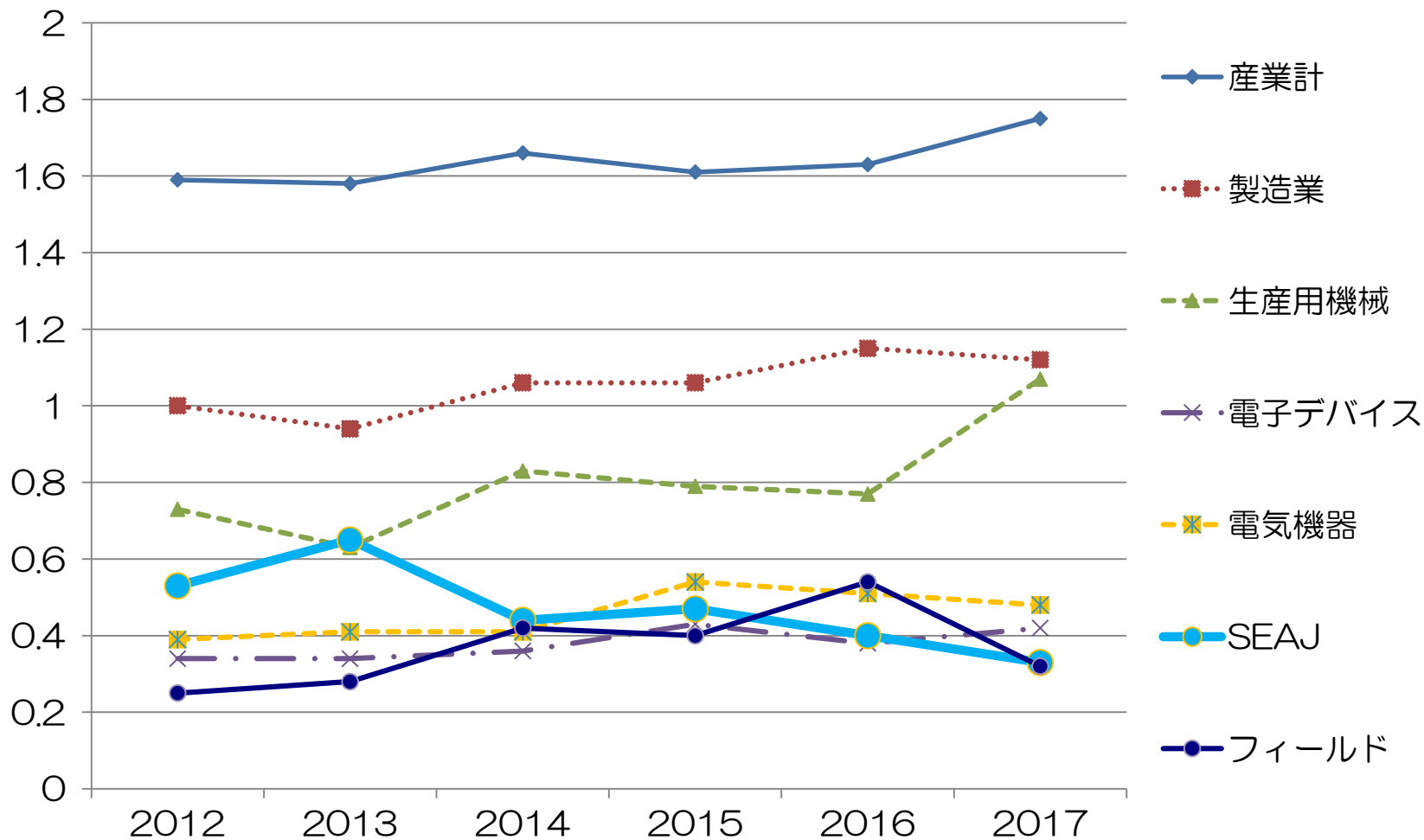
フィールド度数率



フィールド強度率



SEAJ調査協力企業 フィールド度数率分析結果



SEAJ調査協力企業 フィールド強度率分析結果

